

頼れる身近な企業サポーター

エネルギーシユに解決策を提供

株式会社 コンサルティングオフィス

代表取締役 大島 昌子



鹿児島県出身。「とらわれない心、こだわらない心、かたよらない心」祖父のことばを意識して育つ。高校時代に簿記1級を取得し、大手総合電機メーカーの研究所から労組勤務、社会保険事務所を経て1990年独立。座右の銘は故郷の偉人、西郷隆盛がいった「敬天愛人」。趣味はゴルフ。同社主催のコンペも行い、COF杯を出す。

中堅、中小規模の経営者の大きな悩みの一つが法律と役所、税金、各種申請である。

雇用一つにしても、労災保険法、雇用保険法、健康保険法、厚生年金法が絡む。社内ではこれに準拠して社会保険、労働保険を計算し徴収する。

前提には就業規則や賃金があり、給与計算があり、経理が関係してくる。

他方、雇用関係は総務部門とも関連し、出産育児一時金などは福利厚生だ。こうした支出をした場合の経理処理はどうなるのか。税務の知識が必要だ。こうした複雑で面倒な手続きを行うのが税理士や社会保険労務士である。

企業が事業を拡大していけば、当然、許認可が

必要なケースがでてくる。定款の書き換えや役員の変更もあるだろう。

こうした企業活動に欠かせないが、それによって利益を得ることができない業務は多々ある。事業が拡大していくにしたがって、より広範な実務が発生するといってもいい。大企業ではこうした法務、財務、税務などについて専門家を配置したセクションを置くことも可能だが、通常は税理士事務所、司法書士事務所、社労士事務所などに依頼する。

プロにアウトソーシングすることで、正確でモレのない仕事がスピーディーに仕上がる。社内の人材の有効活用、書類の不備などによる時間や機会損失などのムダ排除が可能だ。

だが、個別に依頼していることで、抜ける部分や重複するケースも出てくる。給与計算を依頼するのであれば、年末調整はもちろん、労働・社会保険や雇用保険も依頼したいところだ。また、経理記帳代行では年間を通しての経理処理における原理原則を踏まえての発生主義、確定（現金）主義を正しく提案することで、労務・経理・給与と社内全体を把握し、経営に直結した分析、問題提起を行っている。クライアントは一括で依頼することで、打ち合わせにかかる工数や書類作成にムダがなくなる。

こうしたわずらわしいが避けて通れない業務を一括してサポートし、よりよい解決策を提供しているというのがコンサルティングオフィスである。ワンストップですべてのことができるメリットは時間や手間だけではない。「法律に強くなければなりません」と指摘するように、ちよつとした書類の書き方や申請方法で年金の受給額や助成金が変わってくることもある。法律を知り抜いているからこそ、顧客が有利になる方法を提案できるのだ。

また、全体を見ていることで、的確な判断ができることもある。このままでは経営状態が危ない、あるいは法律違反になってしまいうなども早期発見ができる。いってみればリスクマネジメントにもつながるのである。

常に最善を出していきたい

経営者が企業経営に専念できる環境をワンストップで提供する大島氏は月に1回「COF NETWORK」という会報誌を発行している。これは法改正や税金、年金など話題となっているトピックスを解説したもので、同社と付き合いのある企業に送られる。また、顧問先相互の親睦を図り、新しいビジ